

リビング建材CZ 玄関収納〈トールキャビネット〉 施工説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお、施工後は、地主様にお渡しください。

■施工される方へのお読み

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 ...取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害が想定されます。冒頭にまとめて記載してありますのでお読みください。

▲注意

- 所定の棚頂(壁体)に、取付け枠が設置されているが確認してください。取付け枠は、厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。ねじの回り下り強度が不足し、キャビネットの落下の原因となります。
- 壁面(壁体)への固定は、付属のねじでキャビネットの倒れがないように取り付けてください。キャビネットの落下の原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます)
- 壁の厚みは、扉の丁番カップがキャビネット側の扉に「カチャ」と音がするまで、はめこんでください。扉の落下の原因となります。

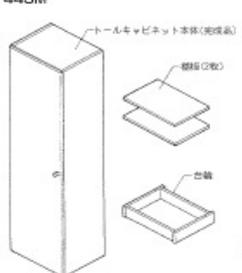
■施工上のお読み

- 壁面(壁体)に固定する際は、水準器・下げ巻り等で水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の関節に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。化粧シートが張損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。

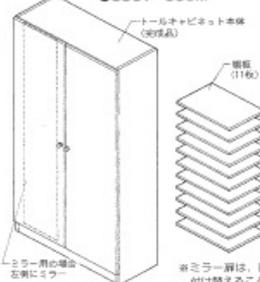
- 本製品のねじ締め時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締めトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組み立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の割傷や垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。
- 発熱部付近には取り付けないでください。熱により、製品が変形するおそれがあります。

■部品・部材の明細

●445T・445M



●890T・890M



■部品一覧表

部品名	入数	
	W445	W890
取付けねじ DN55 φ3.8×65(黒)	4本	4本
連結ねじ 目タッピン1種 φ3.5×32(黒)	6本	6本
棚ダボ	6個	44個
把手(ねじ付き)	1個	2個
台輪取付けねじ DN50 φ3.4×50(黒)	4本	-

■製品寸法表

●445T・445M



●890T・890M



●側面(共通)



■左右手の決め方

●445T・445Mは、左右兼用となっています。天地を逆転させてつり元を決めます。

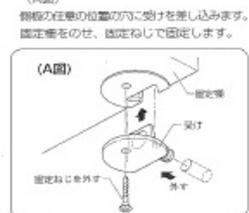
●右つり元



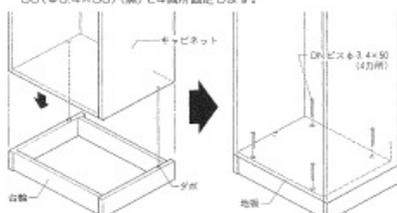
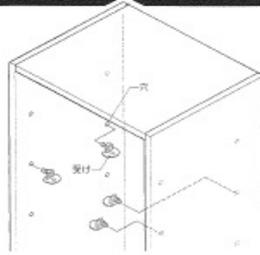
●左つり元



●右つり元の場合、取付けねじを外し替えます。(A面) 棚板の位置の位置の穴に受けを差し込みます。固定ネジをのせ、固定ねじで固定します。



●大枠の取付けは、地板の穴より同様のDNビス50(φ3.4×50)(黒)で4箇所固定します。

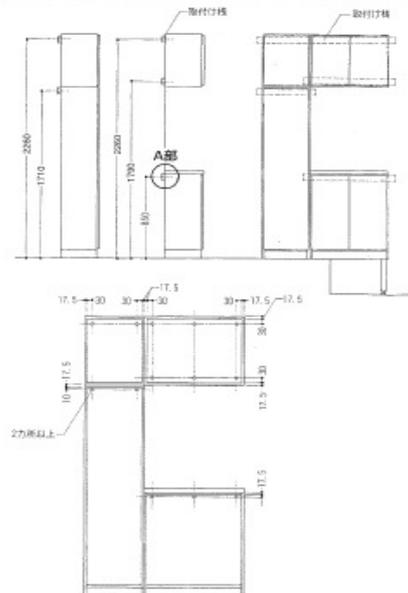
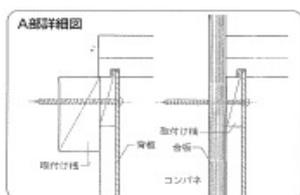


■取付け手順

▲注意

■事前工事(取付け枠の設置)

- 据付け場所と上り部の位置及び、収納セットの左右向きを確認し、所定の位置(壁体)に取付け枠を設置してください。
- 取付け枠は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- コンパネ(t=12mm)ベタ張りでは、付属の取付けねじ(φ=6.5mm)の回り下りが定まりません。この場合、t=18mm以上の合板をご使用ください。
- 土間厚のキャビネットが必ず上りにかかるように設置してください。

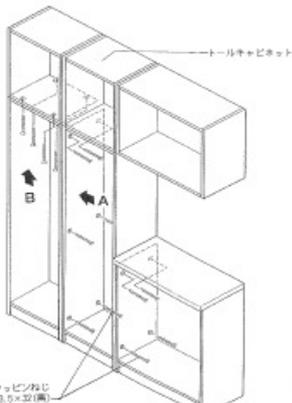
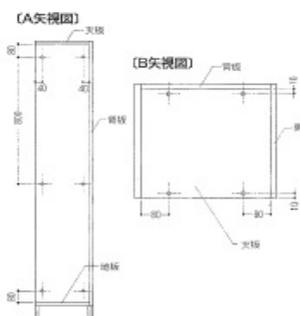


■キャビネットの連結

- キャビネットの壁面への固定位置
壁の位置に同様のDNねじ(φ3.8×65)で固定します。
※キャビネットの傾き、たおれを調整しながらセットしてください。
※たおれの原因となりますので、必ず調整してください。

●キャビネットの連結

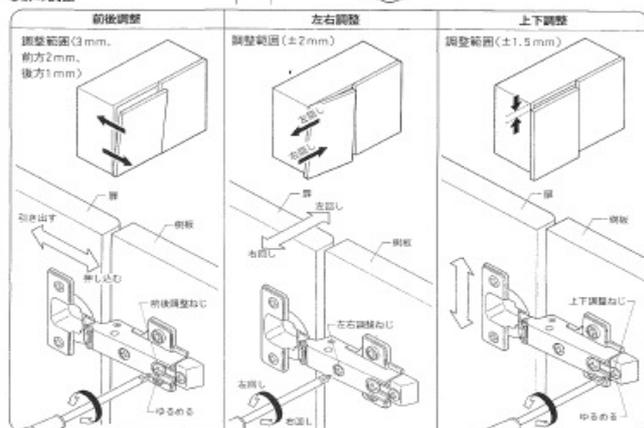
キャビネットの裏板前縁をそろえ、同様の目タッピンねじ(φ3.5×32)で連結します。



●把手の取付け



●扉の調整



●脚の取付け

